

科目名	ほねと筋肉 1							年度	2025
英語科目名	Bone and muscle 1							学期	前期
学科・学年	柔道整復科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	有山敦士、秋田雄大	教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師（接骨院にて勤務経験あり）		
【科目の目的】 柔道整復師が取り扱う外傷の基礎となる骨と筋肉について、働き・構造・機能について学ぶ。									
【科目の概要】 体の各部位について幼児や老人にも理解しやすく説明できる知識を学びます。									
【到達目標】 全身の骨格、筋の構造を三次元的に理解し、骨と骨との連結（関節）の構造と機能、それらが構成する運動器の全体構造とそれらの立体的な構成、骨格筋の起始、停止、支配神経および作用を理解し説明できるようにする。また、骨の生理的機能や筋の生理的機能を理解し、柔道整復師の業務で要求されるレベルで説明できるようになることを到達目標とする。									
【授業の注意点】 医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	骨の構造について非常に理解し、説明ができる。	骨の構造についてよく理解している。	骨の構造について理解している。	骨の構造についてあまり理解していない。	骨の構造について全く理解していない。				
到達目標 B	関節の構造と動きについて非常に理解し、説明ができる。	関節の構造と動きについてよく理解している。	関節の構造と動きについて理解している。	関節の構造と動きについてあまり理解していない。	関節の構造と動きについて全く理解していない。				
到達目標 C	頭蓋の骨、咀嚼筋について非常に理解し、説明ができる	頭蓋の骨、咀嚼筋についてよく理解している。	頭蓋の骨、咀嚼筋について理解している。	頭蓋の骨、咀嚼筋についてあまり理解していない。	頭蓋の骨、咀嚼筋について全く理解していない。				
到達目標 D	上肢帯の筋について非常に理解し、説明ができる。	上肢帯の筋についてよく理解している。	上肢帯の筋について理解している。	上肢帯の筋についてあまり理解していない。	上肢帯の筋について全く理解していない。				
到達目標 E	上腕の屈筋、伸筋に対して非常に理解し、説明ができる。	上腕の屈筋、伸筋に対してよく理解している。	上腕の屈筋、伸筋に対して理解している。	上腕の屈筋、伸筋に対してあまり理解していない。	上腕の屈筋、伸筋に対して全く理解していない。				
【教科書】 医歯薬出版解剖学改訂第2版－社団法人 全国柔道整復学校協会 監修－に準拠する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 定期試験による評価									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

